

科目名: 色彩計画演習

No.	到達目標	評価基準				
		S 極めて高い水準で達成している	A (高い水準で達成している)	B 標準的な水準で達成している	C 最低限の水準で達成している	D (未達成である) 1つでもあてはまれば不合格
1	色彩学で学んだ基礎知識を活かした作品を作ることができる(C-2)	色彩学の基礎知識を積極的に活かし、色彩理論に基づいた説得力のある作品を作ることができる。	色彩学の基礎知識が活かされ、バランスの取れた色彩構成のある作品を作ることができる。	色彩学の基礎知識が部分的に活かされ、一定のバランスを保っている作品を作ることができる。	一般的な色彩の知識を用いて作品を作ることができる。	色彩学の基礎知識を活かした作品が作れない。
2	目的やメッセージを元に、論理的な視点と情緒的な視点を掛け合わせた色彩計画を作ることができる(C-2)	目的やメッセージを基に論理的や情緒的な要素と組み合わせることで独自の複雑な色彩計画ができる。	目的やメッセージを基に論理的や情緒的な視点を加えて複雑な色彩計画ができる。	目的やメッセージを基に論理的な視点と情緒的な視点を取り入れた色彩計画ができる。	目的やメッセージに基づいた色彩計画に取り組むことができる。	目的やメッセージに基づいた色彩計画が不十分であり、論理的な視点や情緒的な視点がない。
3	自ら計画した色彩表現について、簡潔に説明ができ、その表現について受け答えができる(C-2)	色彩表現の目的やメッセージを納得性の高い根拠を用いて明確に説明し、論理的で簡潔な受け答えができる。	色彩表現の目的やメッセージを明確に説明し、論理的な受け答えができる。	色彩表現の目的やメッセージを理解したうえで説明し、受け答えもできる。	色彩表現の目的やメッセージを理解し、説明ができる。	色彩表現の目的やメッセージが不明確であり、説明が不十分で受け答えができない。